

令和7年度の重点課題

○運動やスポーツに対して、肯定的な思いをもっていると回答する児童が男女問わず多いが、否定的な思いをもっている児童も一定数いる。

○男女とも「上体起こし」、「20mシャトルラン」、「反復横跳び」、「50m走」が共通して平均を下回っている。

上記の課題を受けて具体的に
取り組んだ事項

○体育の学習では、「大朝版セットメニュー」を参考にし、準備運動を行った。
・各種鬼ごっこ
・ひざタッチ相撲

○児童会の体育委員会を中心となって、大縄跳大会、タイヤ跳び大会などを実施し全校児童がそれに向けて練習に励んだ。それによって、外遊びの時間に遊ぶ児童が増えたり、縄跳び等を自主的に行う姿が多く見られた。

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.88	20.69	24.44	34.13	50.25	8.88	149.88	19.44	50.81	第5学年	17.60	19.93	37.40	34.67	31.13	9.38	144.87	12.13	53.73

県平均値かつ全国平均値未滿

令和8年度新体力テストの結果 県平均値(令和8年度)・全国平均値(令和7年度)との比較

県の調査結果が公表された後、データ入力シートに最新の県平均値(R8)を記入し、比較を行います。

県平均値かつ全国平均値未滿

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	75.00	18.75	6.25	0.00	第5学年	66.67	26.67	6.67	0.00

学校独自の意識調査

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
男子	87.5	12.5	0	0
女子	66.6	33.3	0	0

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して、体育の準備体操(10分程度)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れ、学習内容に適した準備運動を導入として取り組んでいる。
- ACP(アクティブチャイルドプログラム)は「大朝版セットメニュー」を参考にしている
- ・進化ジャンケン
- ・体ジャンケン
- ・ひざタッチ相撲
- ・各種鬼ごっこ 等

体育の授業以外で行う取組内容

- 職員体育研修を行い、APCの運動遊びや伝承遊びへの理解を深めたり、運動領域ごとに行うとよい準備運動を実施・体験したりすることで、職員全体で体育の運動量確保と充実を図る。
- 体育の準備運動を体験することで、様々な遊び・伝承遊びを、休憩時間や学級レクを活用し児童が進んで取り組むよう促す。
- 体育委員会を中心とし、児童の遊びの充実を図るため、「大縄大会」、「タイヤ跳びジャンケン大会」を実施していく。

重点課題

情意面での課題

- 共通
- ・運動をすることが好き、またはやや好きと、肯定的に答える児童の割合が男子、約94%、女子、約94%と高い割合になっている。また、男女1名ずつ否定的な思いをもっている児童がいる。

体力面での課題

- 男女での共通点
- 「長座体前屈」「反復横跳び」「ボール投げ」

令和9年度の
重点目標値

- 運動やスポーツが好き、やや好きと、肯定的に回答する児童の割合を男女ともに90%以上を維持する。
- 体育の授業が楽しい、やや楽しいと肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。